

県立中央青年の家

等高線間隔 10m
縮尺 1:10,000



2009全日本大会茨城 (144MHz)での私の判断と行動

2009年10月25日(日)
於 茨城県土浦市

安島 巧

調査期間・平成12年12月～平成13年
調査者・茨城県O.L協会第2支部
作成者・暮内英史(0CA07.0)
(license no. 2526)
発行所・茨城県教育委員会
印刷・うりなみ

初めに

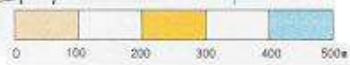
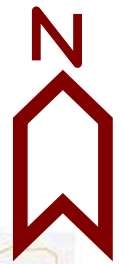
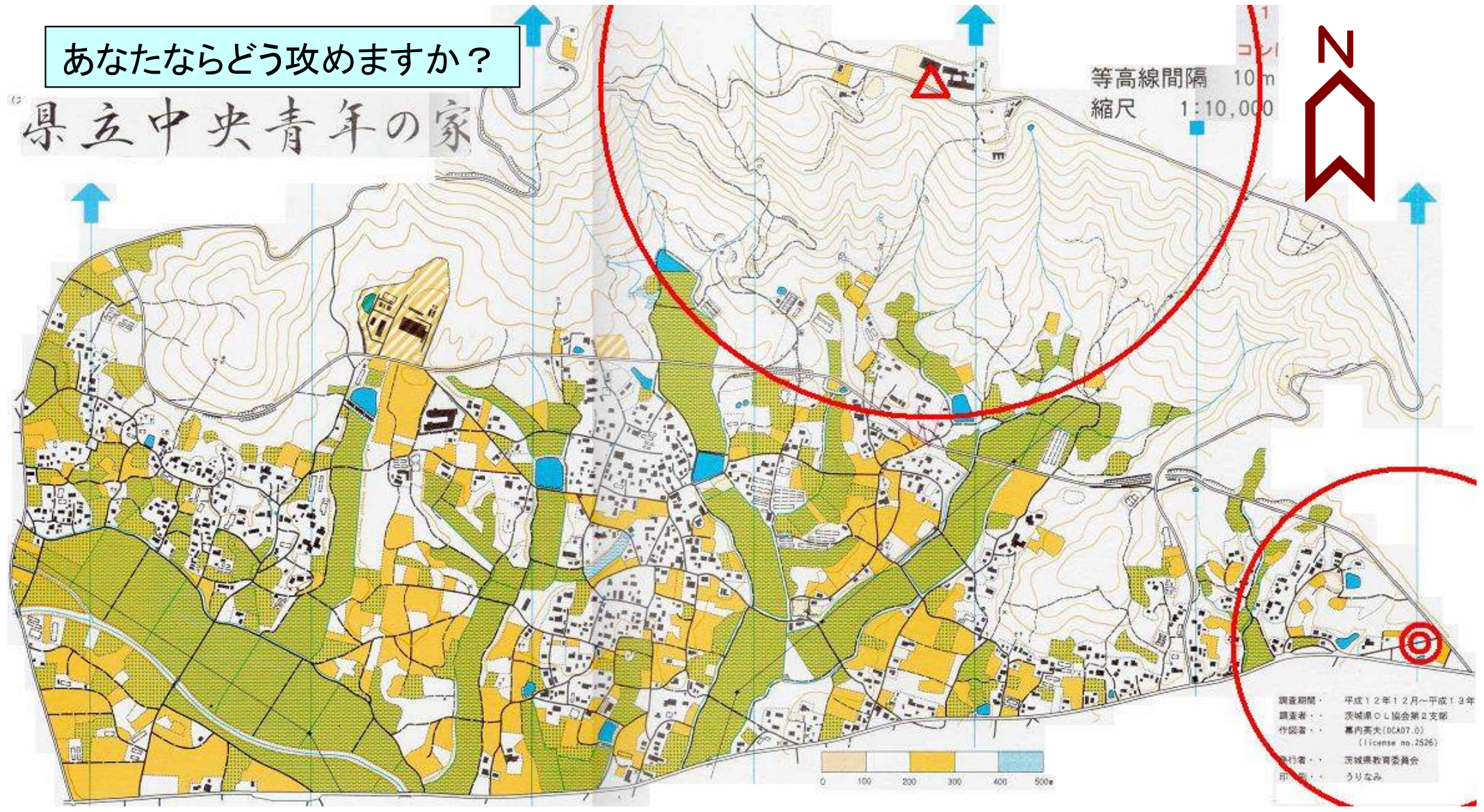
このドキュメントは、ARDF競技に参加したときに、私がどういう場面でどういう判断をしたかを記憶を頼りに記録したものです。

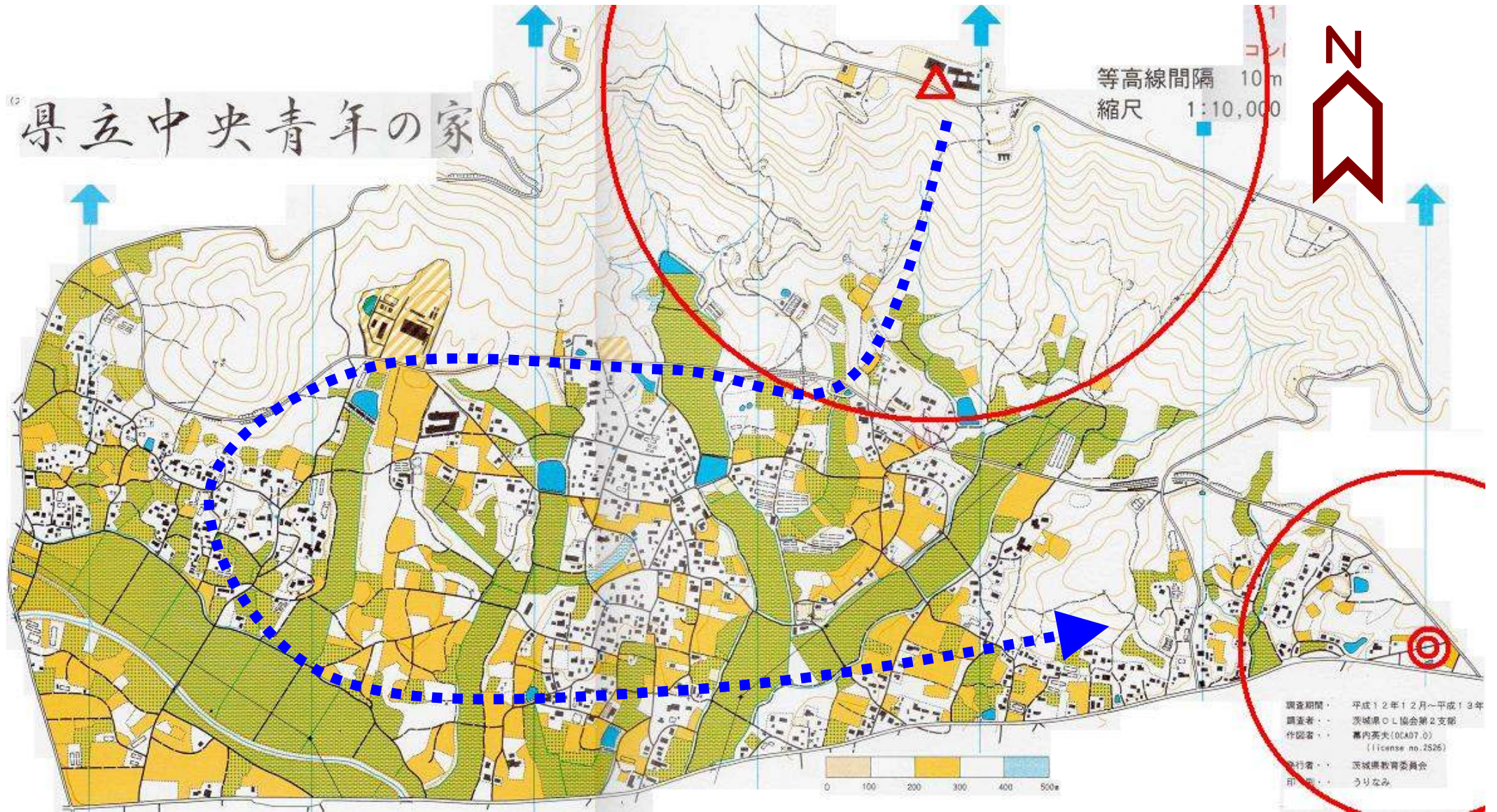
従って、「こうすべき」という正解を記載したものではありません。

ARDFに参加した一競技者の話として、主に初心者の皆さんの役に立てられればと思って作成いたしました。

あなたならどう攻めますか？

県立中央青年の家

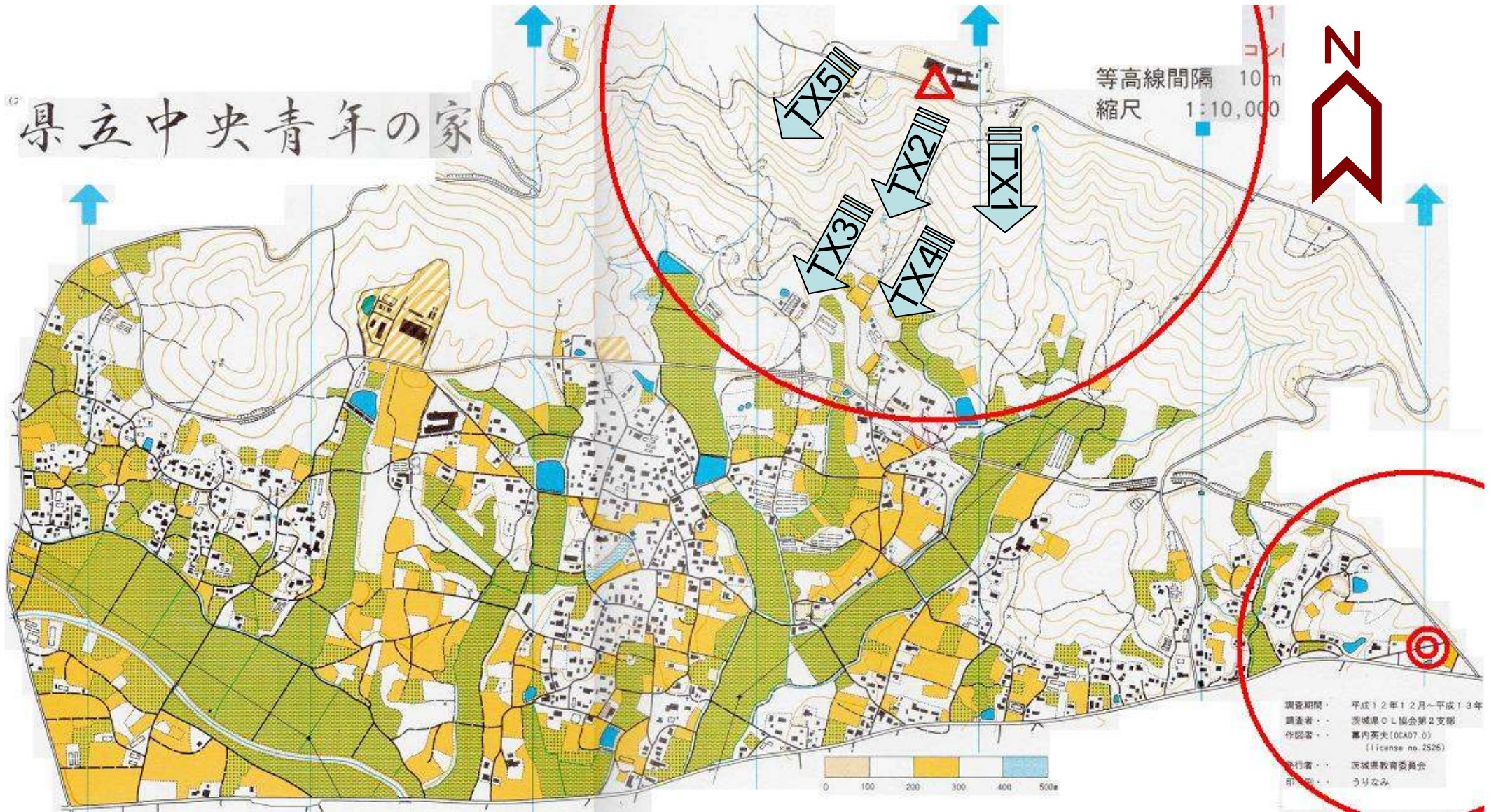




①スタート前の地図読み

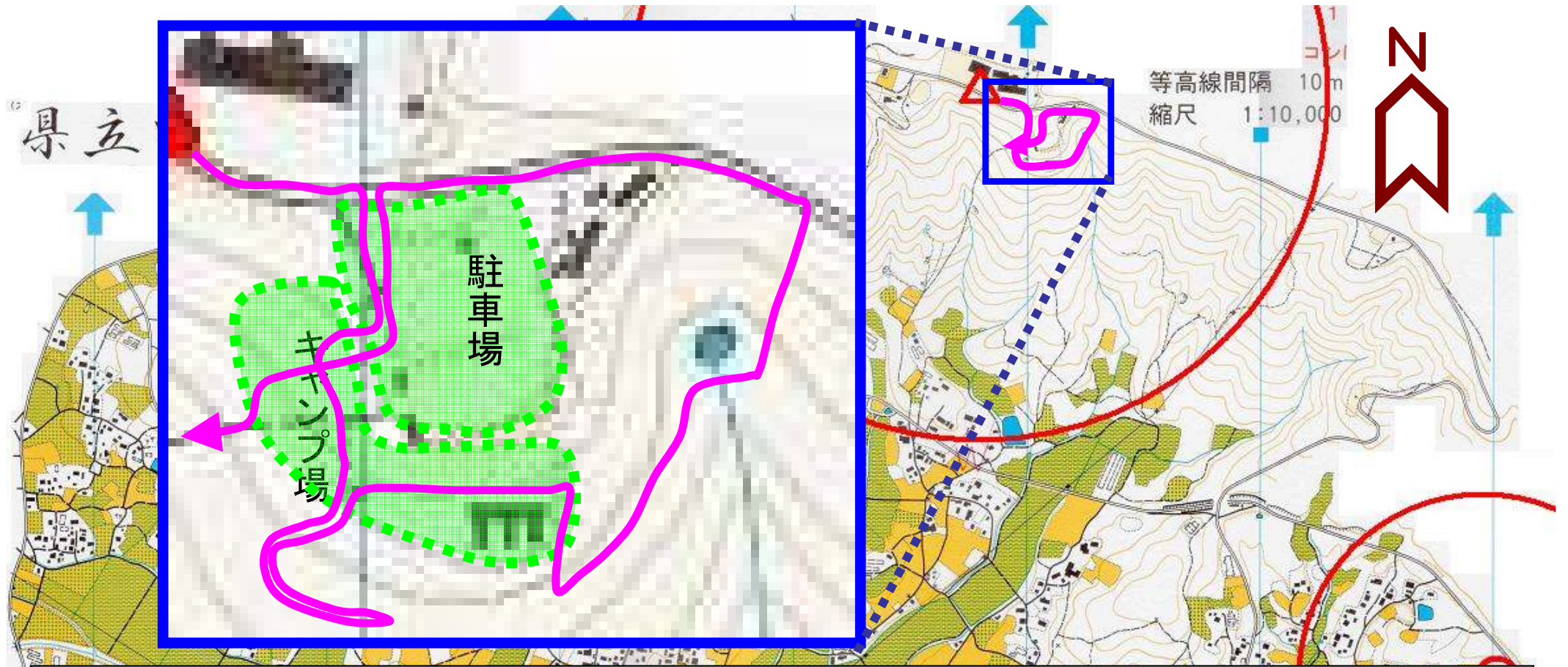
ゴールが下界だ。助かった。スタート直後の方探をしっかりとしてから山をおり、平坦なテレインを西から攻める。西側の下る道は距離があるので、下るのはスタート直下の道とする。

県立中央青年の家



②探索開始地点

TX1はゴール付近。TX2は強く南方向。TX3,4も同方向で弱い。特にTX3は非常に遠そう。対象外のTX5のみが西側だ。ラッキー。まずはまっすぐ降りてTX2を目指そう。



③キャンプ場

駐車場右側にキャンプ場があり、OL逆周りコースの看板がある。これだ。キャンプ場を降りていく。もうそろそろ西向きの道があるはずだ。ところが道は東向きに。これはおかしい。しかし戻ってくる人もいない。でもいくらなんでも下りすぎなので坂を戻ることにする。上から次の組の人たちが集団で降りてくる。もう追いつかれたのか。道を空けることもあって自分は西側の炊事場のほうへ進む。ご一行様はそのまま下り続ける。負けていけない。自分はショートパスして下の道へと下る。しかしどうもおかしい。ため池のところで上の車道が見えたので崖を登り、駐車場へと戻る。15分も経過してしまった。もう一度しっかりと地図を見る。さっきのため池が地図に書いてある。よかった。そのまま進まないで。慎重に下り道の入り口を探しおける。

県立中央青年の家

ロードレース状態

藪に入る人

TX4

TX2

等高線間隔 10m
縮尺 1:10,000

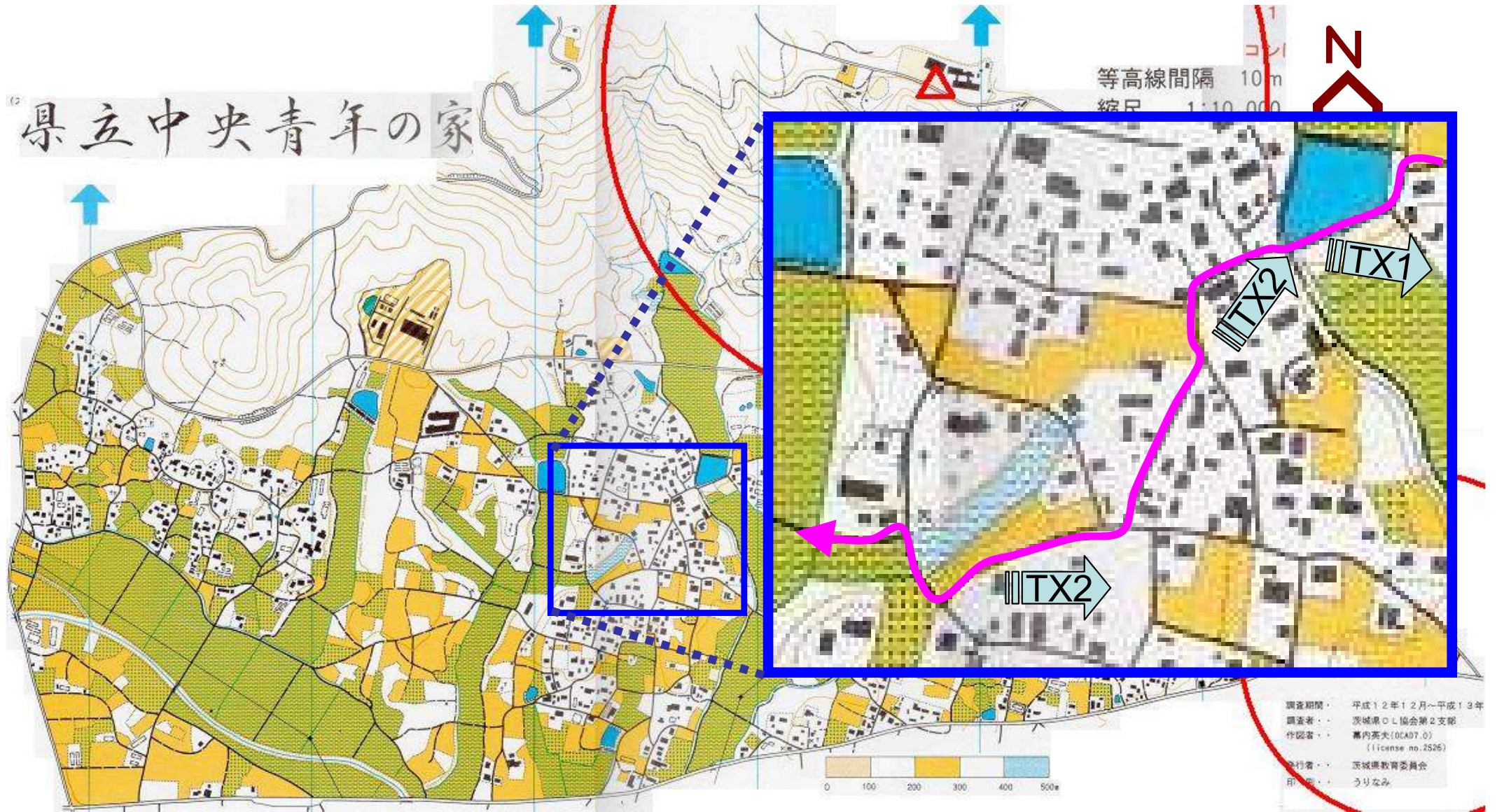


④坂を下る

早くも敗北者気分。急坂なので危険という理由で歩く。ターゲットは最も強いTX2。

右折して車道西向きに進む。見通しの良い一本道の車道を多くの競技者がロードレース状態。これはたまらん。自分は南方向の道に左折して入る。道脇の藪に入ろうとしている人がいる。いくらなんでもここにはないでしょう(実は正解であった)と思い、自分はため池方向へ進む。

平成12年12月～平成13年
茨城県O.L.協会第2支部
暮内英史(0CA07.0)
(license no. 2526)
茨城県教育委員会
うりなみ



⑤ 攪乱地帯

住宅街に入る。TX2はだいぶ弱くなった。遠いか物陰であろう。しかし方向がわからない。場所を変えてみるが方向が出ない。今、通ってきた方向のようにも感じる。TX2以外も方向がわからない。これは攪乱地帯(私の命名)だ。早く脱出しなければ。開けた場所があったのでとりあえずそちらに進む。



⑥開けた場所

全速力の斉藤先生とすれ違う。さすがだ。TX2はかなり弱くなった。どうやら行き過ぎたようだ。代わりにTX4が強くなった。えっ山を降りて西方向じゃない。あのロードレース車道方面だ。やられた。あわてて北上する。

県立中央青年の家

等高線間隔 10m
縮尺 1:10,000



監視員車両

④

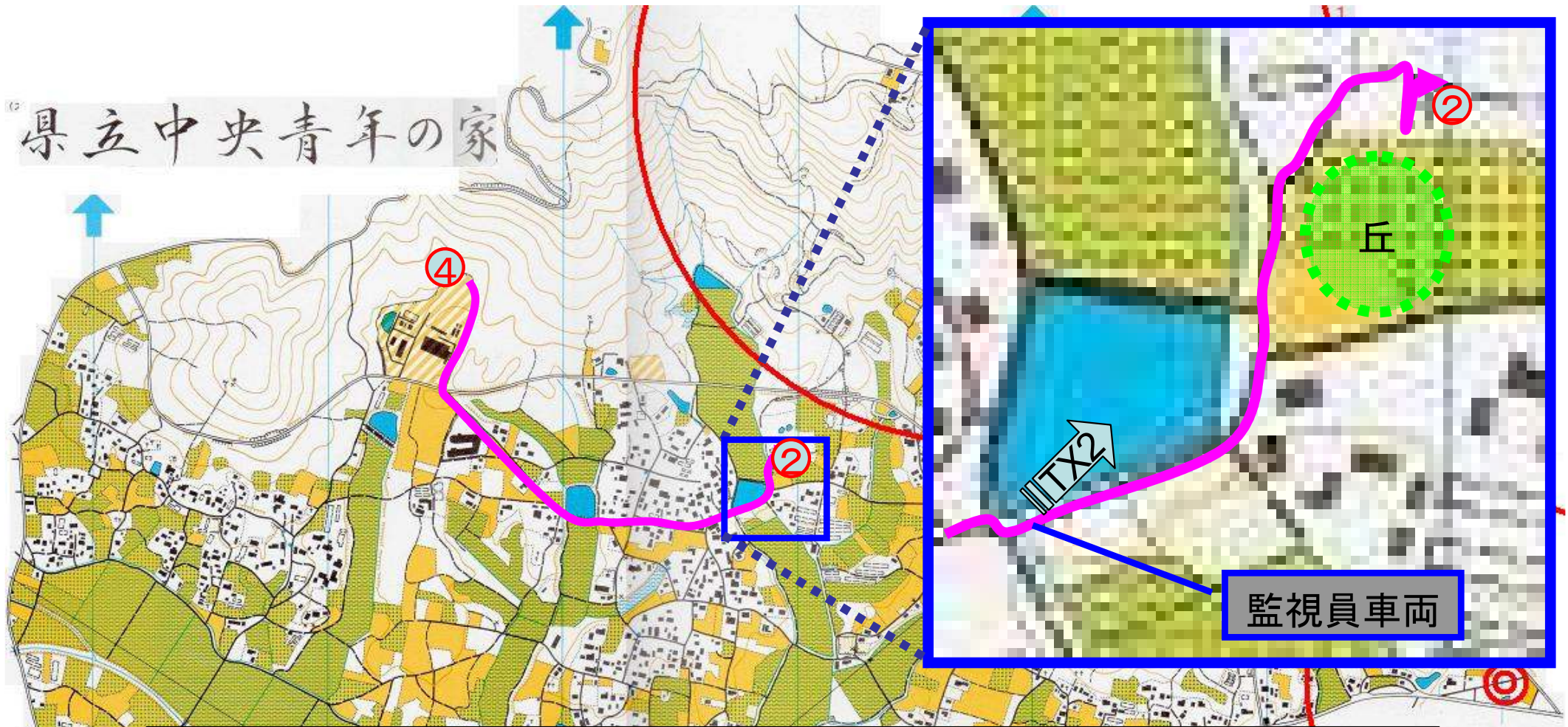


⑦TX4

車道にでる交差点で監視員がのっている車が止まっている。一応あたりをチェックして交差点で待機。TX4が鳴く。車道北側の道の突き当たりだ。走る。突き当たり直前で停波。もう少しだったのに。みると突き当たりの湿地帯におびただしい足跡。これは先駆者に敬意を表して進まない手はない。ぐちゃぐちゃの道を進む。近くにいた高校生も入ってくる。奥に進むにつれ足跡もまばらに。これは違うと思い戻る。途中で普通の山林方向へと湿地帯から脱出する。TX4が鳴く。目の前にフラッグ出現。湿地帯に入らず道路をもう少し進んだ所だった。TX4ゲット。次はTX2だ。

平成12年12月～平成13年
茨城県O.L協会第2支部
幕内英史(00A07.0)
(license no. 2526)
茨城県教育委員会
うりなみ

県立中央青年の家

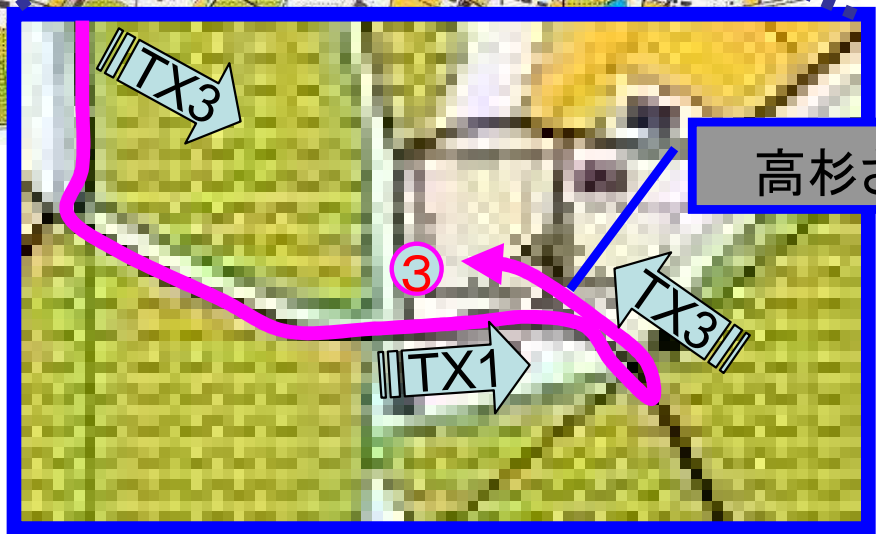
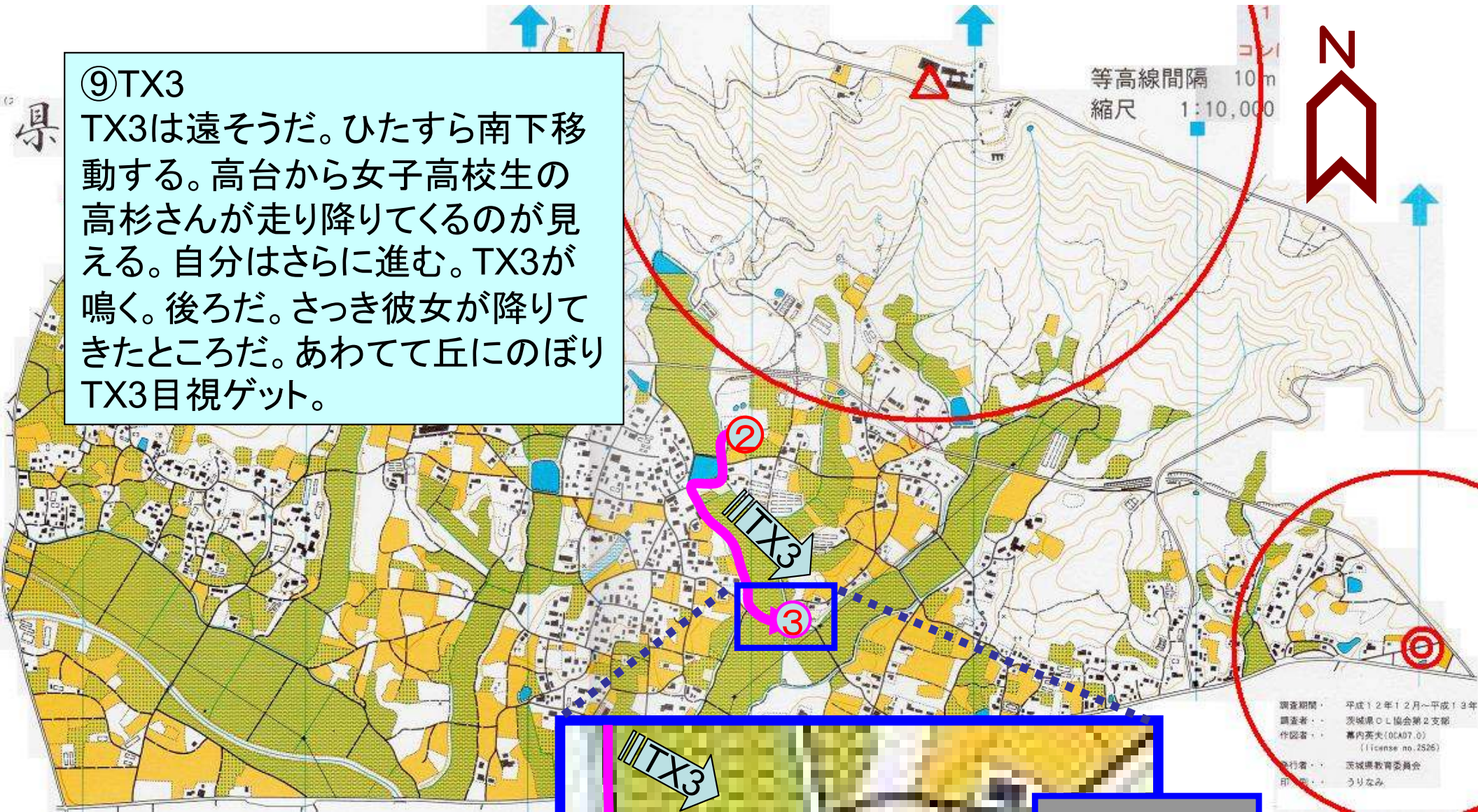


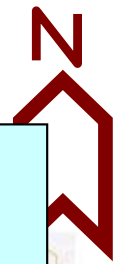
⑧TX2

ひたすらため池まで戻る。監視員から激励を受ける。TX2が鳴く。丘の上だ。走る。丘の上に保坂豊子さんたちがいる。しかし追い込んでいる様子はない。おかしいな。丘の上ではないのかな。丘に登るところがないので回りこんでいる道を進む。行き止まりにフラッグ発見。近づくにOLのパーマネントコースのものだった。な～んだ。お墓のところから丘の上に上がれそうだったので、そちらに進んだところ、さきほどのフラッグのところから銀色のアンテナ発見。トラップだったのだ。TX2ゲット。

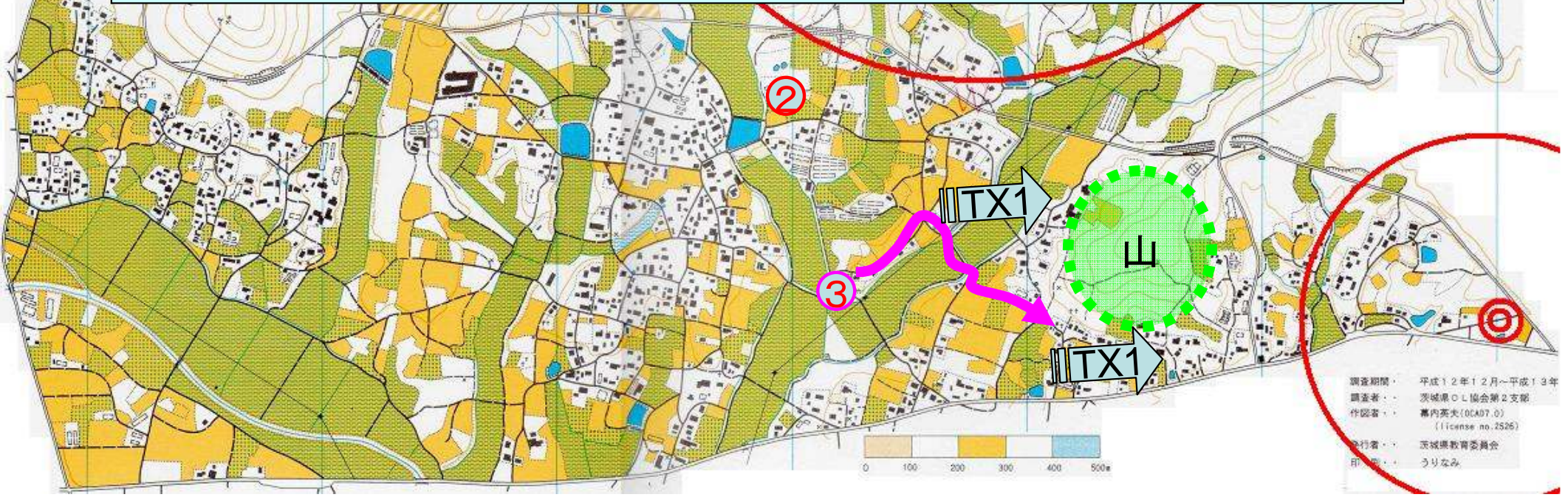
⑨TX3

TX3は遠そうだ。ひたすら南下移動する。高台から女子高校生の高杉さんが走り降りてくるのが見える。自分はさらに進む。TX3が鳴く。後ろだ。さっき彼女が降りてきたところだ。あわてて丘にのぼりTX3目視ゲット。



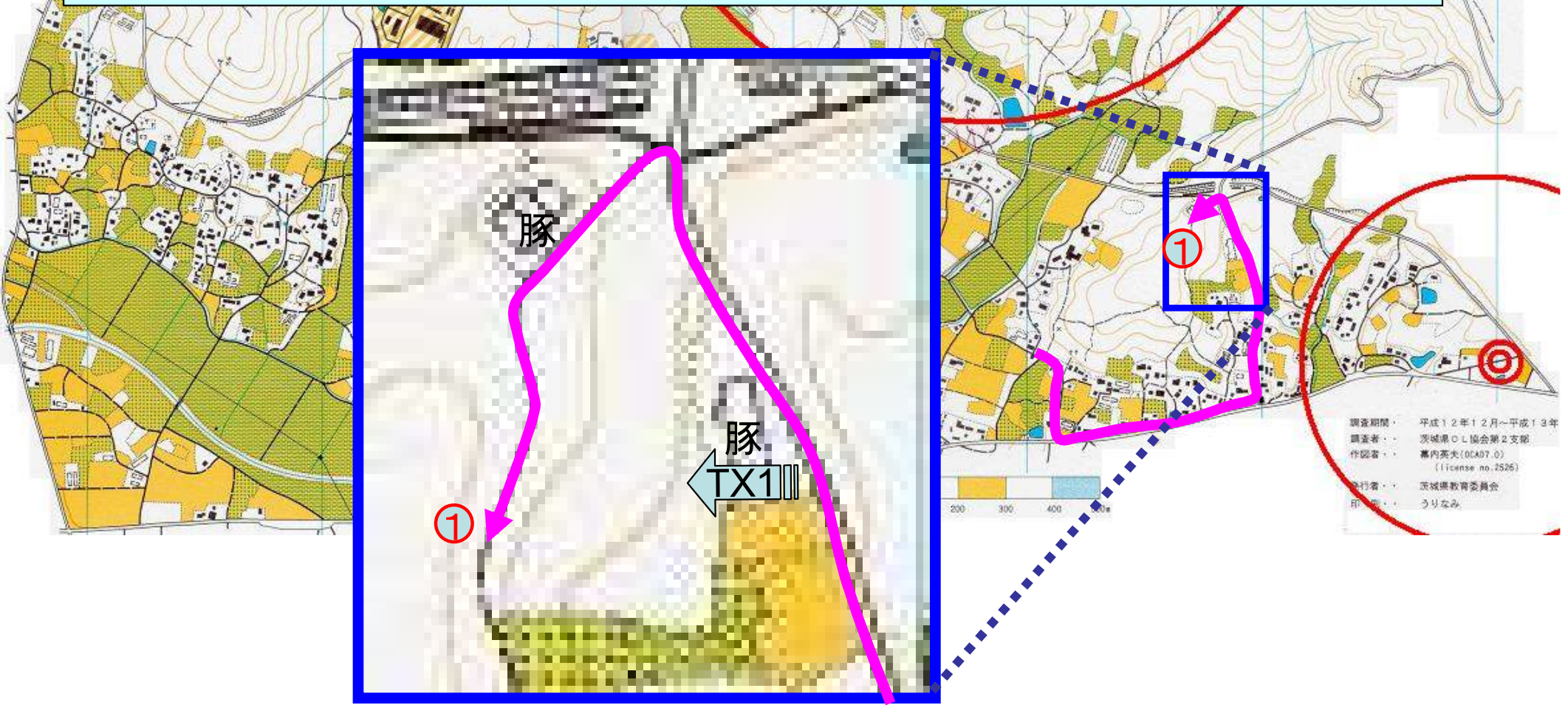


⑩山に登るか登らないか
 TX1は山方向だ。頂上を通る山道にある可能性が大だが、体力的にリスクも大だ。下に下りると急激に弱くなった。方向はゴール方向にでる。TX1は山の裏側にあると判断。山の南から回りこむことにした。時々全日本大会であったことを思い出し、小走りに。しかし20mももたない。



⑪TX1

車道の交差点を北方向に左折する。TX1は弱い。一抹の不安がよぎる。豚飼育場のところで強烈なにおいと強烈な電波を入感。さすがに豚飼育場の中ではないとすると、山道だ。山道に入り進んでいくと、道が消えそうなところに来たところで右にフラッグが。TX1ゲット



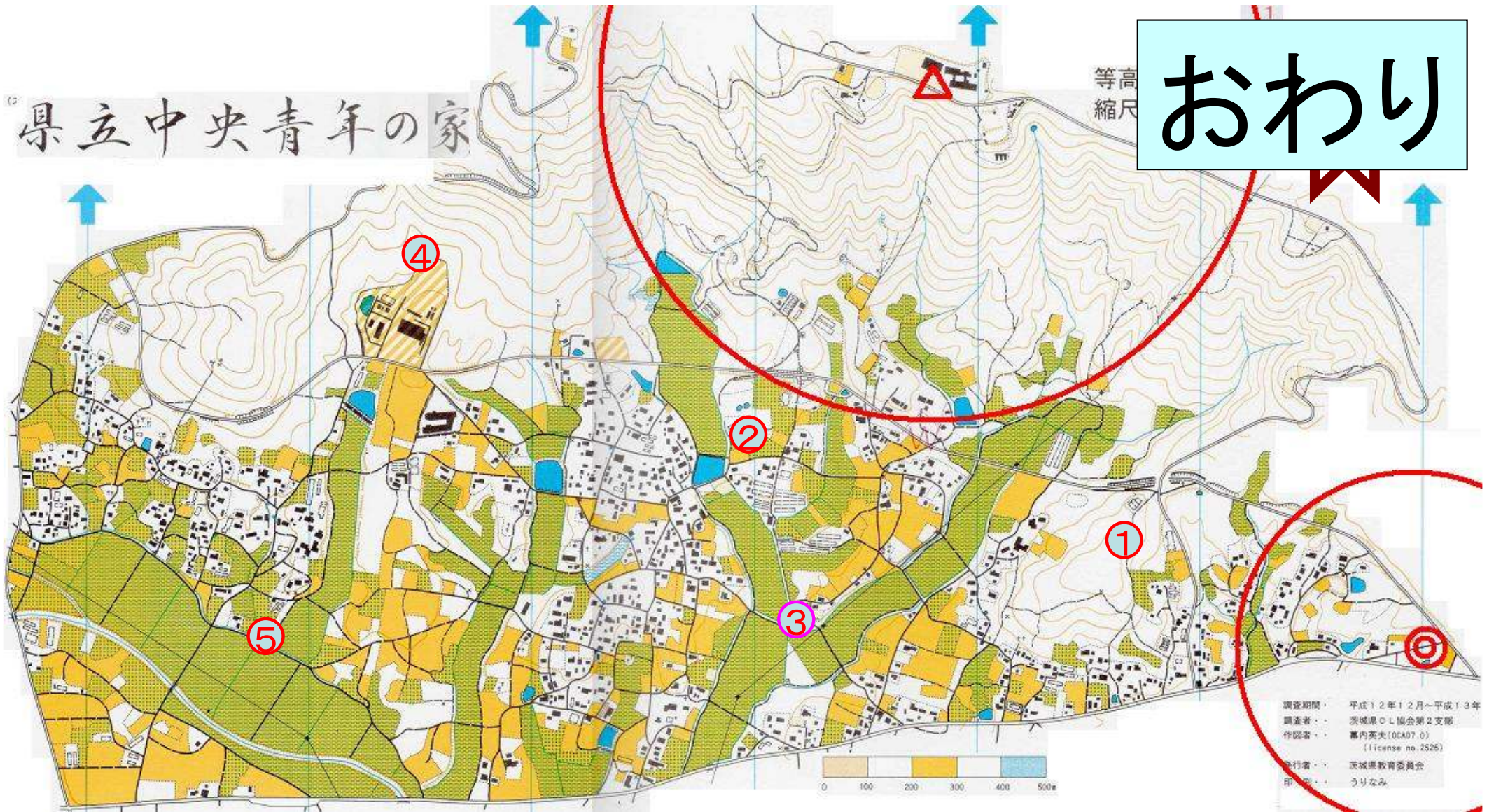


⑫ゴール

ひたすら車道を進む。単調でつまらない。心の中では、「失格しない」という目標に既に変更されていた。二重丸印の場所にはビーコンではなくゴールがあった。

県立中央青年の家

おわり



調査期間・平成12年12月～平成13年
調査者・茨城県O.L協会第2支部
作者・暮内英史(0CA07.0)
(license no. 2526)
発行所・茨城県教育委員会
印刷・うりなみ

反省

◇なんとと言っても最初のコースミスが痛い。地図読みを自信を持ってできるようにしたい。

◇途中の方探がおろそか。TX2を通り過ぎてしまった。新受信機になって数回だが、距離感がいまだ自分のものになっていない。年をとったのだろうか。